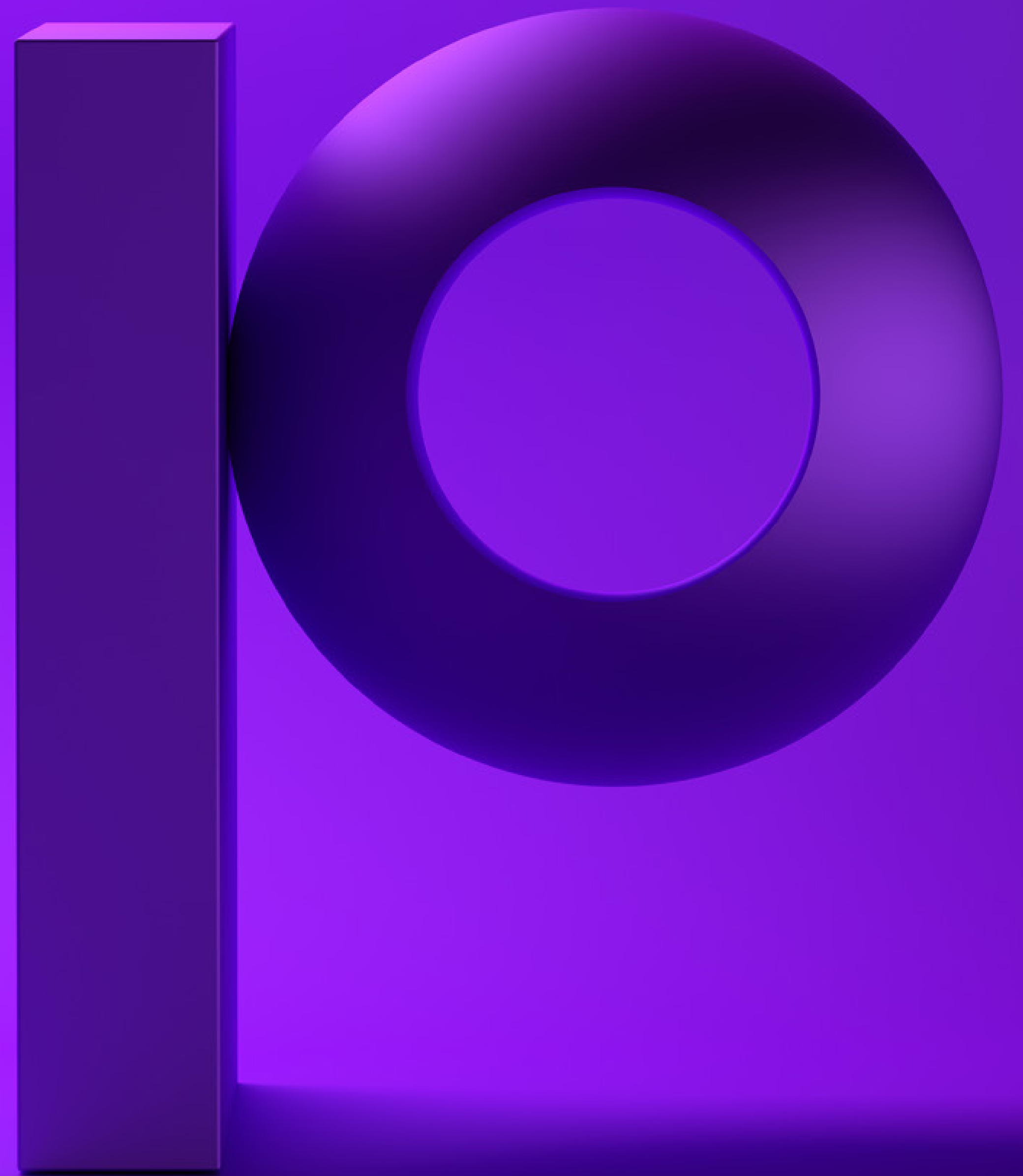


precisely

AIと
データ エンリッチメントで
知見を確かな成果に



はじめに: データ エンリッチメントの力

データドリブンな現代において、企業から日々生み出される生データは膨大な量にのぼります。しかし、コンテキストの欠けたデータは、いわばピースの足りないパズルのようなものです。全体像を把握することは難しく、それを意思決定に活かすことはさらに困難です。そこで効果を発揮するのがデータ エンリッチメントです。コンテキスト、関連性、詳細情報を加えることで、散在していたデータが次の一手につながる生きた知見へと進化します。エンリッチされたデータがあれば、顧客プロファイルの強化から、業務の効率化、さらには AI モデルの能力向上にいたるまで、あらゆる場面で迷いなく確実な意思決定を行えます。

こうした先進技術によって、確かな情報に基づいた戦略的な意思決定をいかに下せるようになるか、詳細をご覧ください。

第 1 章: データ エンリッチメントとは

データ エンリッチメントとは、社外のデータから取得した追加情報によって生データを拡充するプロセスです。コンテキストを重ね合わせることで、企業はデータの意味をより深く理解できるようになります。ここでいうコンテキストには、人口統計データや地理的な位置情報、企業情報、環境リスクなどが含まれます。これらを統合することで、より解像度の高いプロファイルの作成、業務の最適化、そして的確な意思決定が可能になります。

例えば、顧客の住所リストを保有している企業を考えてみましょう。このリストに人口統計や購買行動データを掛け合わせてデータをエンリッチすることで、顧客像が鮮明に浮かび上がり、よりターゲットを絞ったマーケティング施策を展開できるようになります。



第 2 章: データ エンリッチメントの活用事例

位置データを活用して保険引受業務を向上させる

ある保険会社は、新規契約の引受にあたって物件のリスクを評価する必要があります。基本的なデータがあるだけでも、物件の規模、所在地、所有者を評価することはできます。しかし、洪水危険区域、犯罪発生率、過去の気象データといった地理空間データを加えることで、より正確なリスクプロファイルを作成できるようになります。

エンリッチされたデータセットを活用すれば、より適切な保険料を提示できるため、保険料の設定が高すぎたり低すぎたりするリスクを軽減できます。こうしたことを可能にするのが、[Data Graph API](#) のようなツールです。位置情報に基づくさまざまなデータセットにアクセスし、地理空間インテリジェンスを社内データと統合できます。

顧客プロフィールを強化し、よりの確なマーケティングを実現する

ある小売企業は、顧客の氏名、住所、購入履歴などのデータを保有しています。ここに、年齢、所得水準、地域ごとの関心といった集計済みの人口統計データを加えることで、より詳細な顧客ペルソナを作成できます。そうすれば、特定の顧客層の心に深く刺さる、ピンポイントなマーケティングキャンペーンを展開できるようになります。

境界データを活用してネットワーク計画を最適化する

ある通信会社は、ネットワークの拡張を計画していますが、サービスエリアの境界や設備の最適な配置場所について、自社の位置データだけでは十分に詳細な分析を行えません。その位置データに周辺地域や都市圏といった主な対象エリアの境界を定義するデータを加えることで、地域の市場需要を的確に捉え、高品質なサービスを提供しながら、コスト効率よく新しい設備を展開できるようになります。

エンリッチメントデータがあれば、新たな角度からの情報が得られます。そうした情報は、あらゆる業種やユースケースにおいて、企業的意思決定を支える強力な判断材料となるのです。

第 3 章: AI とデータ エンリッチメント — 理想的な組み合わせ

人工知能 (AI) が正確な予測と知見を導き出すには、構造化された高品質なデータが不可欠です。データ エンリッチメントは、入力データの品質を高め、AI システムの実力をより引き出します。意味のある情報でエンリッチされた包括的なデータセットを入力することにより、AI は、より正確でパーソナライズされた実用的な結果を出力できます。

AI を使って商品をリコメンドする e コマース企業を例に考えてみましょう。購買習慣、位置情報、購買力といった詳細情報によって顧客データがエンリッチされていれば、AI は一人ひとりの顧客に響くパーソナライズされたリコメンドを提示できるようになり、顧客エンゲージメントと売上の向上につながります。

このようにエンリッチされたデータは、モデルのトレーニングデータの網羅性と多様性向上にも役立ち、AI システムにおける潜在的なバイアスを軽減できます。信頼できるサードパーティデータを統合してコンテキストを補強することにより、限定的またはサイロ化されたトレーニングデータセットの使用から生じるバイアスを避けられます。これにより企業は、確信をもって AI の出力をすぐに実務に使用することができます。



第4章: エンリッチされたデータによって AI が導き出す知見

エンリッチされたデータセットに AI を適用すると、結果が劇的に変化します。人間では見落とししかねないトレンドや相関関係、外れ値なども、AI はすばやく発見してくれます。例えば都市計画の分野では、AI がエンリッチされたデータを分析して人口増加、交通パターン、インフラ需要を予測することで、都市計画担当者はより確かな情報に基づいた意思決定を行えるようになります。

サプライチェーンの最適化も、注目すべきユースケースです。サプライチェーンのデータを、気象状況や政治イベント、現地の道路障害物に関する外部情報でエンリッチすれば、AI は供給網の混乱を予測し、代替ルートや代替サプライヤーをリアルタイムで提案できます。



第 5 章: データ エンリッチメントを業務に 導入する方法

エンリッチされたデータの潜在能力を最大限に引き出すには、そのデータをワークフローと AI モデルに効果的に組み込む必要があります。データ エンリッチメントを効率的に進めて、その価値を引き出すための実用的でシンプルなロードマップをご紹介します。

データの欠落を特定する: まずは既存のデータセットを分析して、何が不足しているかを明確にします。人口統計、地理情報、市場データなどを追加できる余地がないか検討します。

適切なデータプロバイダーを選定する: 自社の業界に関連する、高品質で厳選されたデータセットを提供するプロバイダーを選定します。例えば Precisely では、正確な地理空間情報や人口統計情報でデータをエンリッチできるツールを備えた Data Integrity Suite を提供しています。

API でシームレスに統合する: [Data Graph API](#) のような API を活用すれば、データを効率的にエンリッチできます。関連データをオンデマンドで取り込むため、膨大なデータセットを社内に保存する必要はありません。

AI を組み合わせて知見を深める: データのエンリッチ後に、AI ツールを連携させて予測分析やパターン認識を実行できるようにします。これにより、より正確な情報に基づいた先見的な意思決定が可能になります。

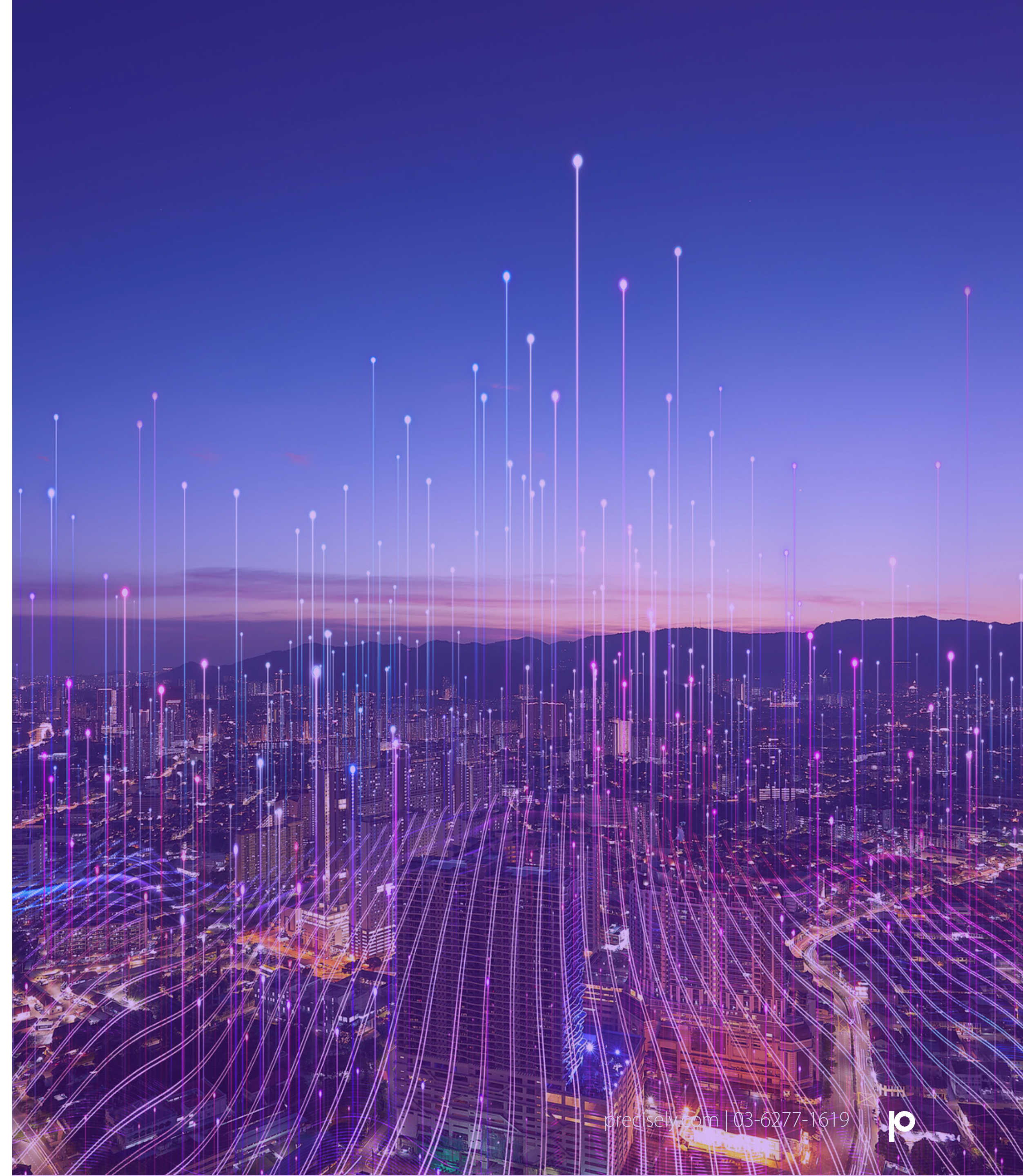


第 6 章: データ エンリッチメントと AI が 切り拓く未来

AI とデータ エンリッチメントの技術は進化を続けており、その活用方法はさらに拡大していきます。今後は、自動化がさらに進み、コンテキストを自律的に理解するシステムの構築に重点が置かれるようになります。そのシステムでは、データがリアルタイムでエンリッチおよび処理され、即座に知見を提供できるようになります。

例えば、スマートシティでは、AI とエンリッチされた地理空間データを活用して、交通管理から緊急対応に至るまでのあらゆる分野で改善が進むでしょう。医療機関は、患者の記録を環境データや行動データで強化し、よりパーソナライズされたケアを提供できるようになります。

AI とデータ エンリッチメントの融合こそが、よりインテリジェントで高度につながる未来への扉を開く鍵になります。データドリブンな意思決定によって企業が成長し続けられる、そんな時代が幕を開けようとしているのです。



結論： 知見を確かな成果に

データ エンリッチメントは、生データを価値ある知見へと変える、不可欠なプロセスです。エンリッチされたデータと AI を組み合わせることで、よりの確かな意思決定、カスタマーエクスペリエンスの向上、業務の効率化を実現でき、企業は競争優位性を得られます。

これらの技術を取り入れると、データを真に生かすことができます。データを単なる「過去の記録」ではなく、イノベーションと成長を牽引する「予測ツール」として活用できます。データに秘められた力を最大限に引き出すために、データ エンリッチメントと AI の活用を検討すべき時は、まさに今です。

この eBook でご紹介したのは、データ エンリッチメントが秘める可能性のほんの一端に過ぎません。さらなるデータ活用を目指す企業向けに、生データを実用的な知見へと今すぐ変えられる包括的なソリューション、Precisely Data Integrity Suite をご用意しています。





Precisely について

データ整合性のグローバルリーダーであるPreciselyは、お客様のデータの正確性、一貫性、そして文脈性を保証します。Precisely Data Integrity Suite をはじめとする当社のポートフォリオは、ソフトウェアだけでなくエンリッチ データやデータ戦略コンサルティングサービスまで網羅し、お客様が Agentic-Ready Data (AI エージェント対応のデータ - 適切に統合・ガバナンス・エンリッチされ、企業規模の AI や自動化、分析を可能とする最高品質のデータ) を実現するために必要な、すべてのものを提供します。Fortune 100 企業のうち 95 社を含む、100 カ国、12,000 社以上のお客様が Precisely の各種サービスを利用して、厳しい規制やミッションクリティカルな要件にも対応したデータ環境を実現しています。詳細はwww.precisely.comをご覧ください。

www.precisely.com

©2025 Precisely. 本文書に記載されるその他すべての企業名および製品名は、それぞれの企業の商標場合があります。